



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2018.3月号

春期特別展

会期：3月17日(土)～5月6日(日)

四之宮前鳥神社 —その神輿と地域の信仰—



相模国四之宮前鳥神社御鎮座1650年の節目に、神社が所蔵する神輿、棟札、古文書、古写真や、四之宮の稲荷講などの信仰関係資料を展示します。なかでも大山の堂宮大工 手中明王太郎景元が文久元年（1861）に建造した本神輿は、相模一とも称えられる名神輿です。この機会に、地域における神社の存在や、神輿・祭礼行事など伝統文化への理解を深めていただければ幸いです。

特別展関連行事 すべて参加自由

◆展示解説 会場：特別展示室

- ① 3月17日(土) 10時～10時50分 解説：鈴木建人氏
- ② 3月31日(土) 13時～13時50分 解説：当館学芸員
- ③ 4月14日(土) 13時～13時50分 解説：当館学芸員

◆前鳥神社見学会

日時：4月8日(日) 13時～14時30分 集合：前鳥神社社務所前
解説：鈴木建人氏（前鳥神社権禰宜） 雨天決行

◆相模人形芝居前鳥座公演「鎌倉三代記」 出演：前鳥座
日時：4月22日(日) 11時～11時30分 会場：博物館講堂

◆前鳥囃子と里神楽公演

日時：4月22日(日) ①13時～13時40分②15時～15時40分
会場：文化公園ステージ（雨天時は講堂）
出演：前鳥神社囃子太鼓保存会

◆対談「神輿を語る～前鳥神社神輿の構造と意匠～」

日時：4月28日(土) 13時30分～15時 会場：博物館講堂
語り手：手中正氏（手中家当主） 聞き手：鈴木建人氏 定員70名

寄贈品コーナー展示 館蔵絵はがき展

会期：3月2日(金)～4月1日(日)

地域の名所や記念行事などが写された絵はがきは、今でもお土産として根強い人気があります。

絵はがきのもつ魅力のひとつは、そこに写された場面が、その土地や記念行事のベストショットであることにあられるでしょう。つまり、絵はがきには、その土地や行事の最も魅力的な、または象徴的な場面が表現されているのであり、同時にそれは、その土地や行事に関わる人々がプロデュースしたいと考える魅力ともいえます。

本展示では当館の所蔵・寄託資料のうち、戦前の平塚とその周辺地域を題材にした絵はがきを展示します。

絵はがきに写されたかつての地域の魅力を振り返ることで、現在の地域の魅力を考え、発見するきっかけにいただければ幸いです。



平塚市絵葉書「湘南道路新花水橋ヨリ高麗山眺望」昭和10年代

体験学習 水田の生き物を見てみよう!

共催：東海大学教養学部 藤吉研究室

平野や丘陵地の川沿いには、水田が作られ、日本人の食を支えるイネが栽培されています。イネを栽培するために、近くの川から水を引くことで、水田にはゲンゴロウ、カエル、ドジョウなどの生き物が集まります。今回の体験学習では、水田に生息する生き物たちを観察し、また、小物作りやクイズなどを通して楽しみながら水田の生き物について学んでいきます。

魅力的な水田の生き物たちと一緒に観察しましょう!



ホトケドジョウ



●実施日：3月17日(土)、3月18日(日)

●開催時間：両日ともに10時～12時、13時～16時

●実施場所：博物館1階 科学教室

●参加費：無料

●実施内容(時間中は自由にご参加いただけます)

- ・生き物の塗り絵(ホトケドジョウ、アカハライモリなど)
- ・生き物ペーパークラフト体験
- ・生き物クイズ
- ・田んぼの水中微小動植物の顕微鏡観察

最新地質学講座 今こそ知ろう『チバニアン』

チバニアンという言葉、昨年一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか?千葉県市原市で見ることができる地層が、日本の地名が付いた新たな地質時代「チバニアン(千葉時代)」の模式地に認定される見通しになり、ニュースなどでも取り上げられ話題になりました。今回は、そんなチバニアンについて、そもそも地質時代とはなにか、何が重要なのか、認定されることでどんな意味があるのか、などの疑問について、わかりやすく解説します。

●日時：3月25日(日) 15時30分～16時30分
(開場は15時15分)

●場所：博物館1階 講堂

●定員：70人(先着順)

●講師：野崎 篤(当館学芸員)



↑チバニアンの模式露頭。多くの人が見学に訪れる人気スポットになっています。(千葉県茂原市 養老川河岸)

火星人 応答セヨ

演劇+映像+プラネタリウム=シアトリカル・プラネタリウム! 今回のテーマは宇宙における“火星人”?

<あらすじ>

遠くの星まで出かけられるようになった未来の物語。火星を往復する観光用宇宙船「シルベースイマー号」は、火星の宇宙港で謎の人物に船を乗っ取られる。名簿を見ても火星にいるはずのないその人物は、もしかしたら火星人?シルベースイマーは無事に地球に帰れるのか?そして彼の正体とは?

- 日 時：3月23日(金) (1)14時30分～ (2)18時30分～
- 場 所：プラネタリウム室(全席自由席)
- 申 込：博物館まで電話申込
(3月6日(火)10時より受付開始;定員になり次第終了)
- 定 員：60人
- 観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)



3.11 東日本大震災祈念プラネタリウム

星空とともに

2011年3月11日…東日本大震災発生。そのとき仙台の夜空に普段見ることができない満天の星が広がっていた…。仙台市天文台が制作した震災時の星空とそのときの人々の想いを題材にしたプラネタリウム番組を、震災から7年となる今年も投影します。

- 日 時：3月10日(土)・11日(日) 15時30分～
- 場 所：プラネタリウム室(全席自由席)
- 定 員：70人(先着順)
- 観覧料：無料(当日9時より1階受付で整理券を配布します)

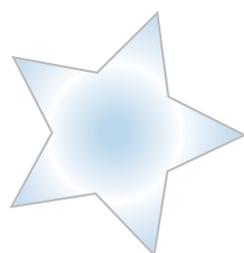


館長の星空解説(春)

春だ! 京都へ行こう 2018

まぎらわしいタイトルで申しわけありません……

春の星空解説に加えて星と関係のある京都の社寺・観光スポット・無名スポットを紹介するプラネタリウム投影です。



- 日 時：3月25日(日)、4月8日(日)(両日とも同じ内容です)
15時30分～16時30分
- 解 説：澤村泰彦(当館館長・元天文担当学芸員)
- 観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)
- 定 員：70人
- 対象年齢：とくになし
- 申 込：当日館受付にて観覧券をお求めください

京都ツアーの募集
ではありませんので
ご注意ください!?

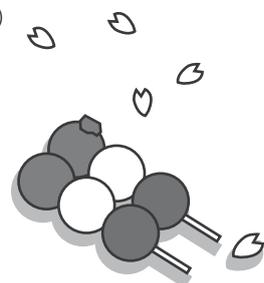


Table with columns for date, event name, location, and status. Includes events like '古代生活実験室', '展示解説ボランティアの会', '天文学入門講座', etc.

Table with columns for date, event name, location, and status. Includes events like '休館', '展示解説ボランティアの会', '特別展示「ひらつかの村絵図を読む」', etc.

☆: プラネタリウム投影日 ◎: 申込制行事 ○: 参加自由 無印: 年間会員制
フ: プラネタリウム一般投影 特: 特別展 寄: 寄贈品コーナー展示 情: 情報コーナー展示

3月の休館日: 5日、12日、19日、26日

[3月の展示]

- 特別展示 (会場: 博物館1階 特別展示室)
◎春期特別展「四之宮前鳥神社—その神輿と地域の信仰—」1頁参照
■寄贈品コーナー展示 (会場: 博物館1階 寄贈品コーナー)
◎「館蔵絵葉書展」2頁参照
■情報コーナー展示 (会場: 博物館2階 情報コーナー)
◎ポスト特別展「ひらつかの村絵図を読む」会期: 3月25日(日)まで

[3月の自由参加行事]

- ◎平塚郷土史入門講座「生活と文化」
日時: 3月10日(土) 午前10時~12時 / 会場: 講堂
◎天文学入門講座「プロキオン・ポルクスと恒星の身体測定」
日時: 3月24日(土) 午後3時30分~午後5時 / 会場: 講堂
◎最新地質学講座「今こそ知りたい『チバニアン』」2頁参照
◎ワークショップ「水田の生き物観察と小物作り体験」2頁参照

[3月のプラネタリウム]

- 定員: 70人 観覧料: 200円 (18歳未満・65歳以上無料)
○観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
○全席自由席です。 ○投影開始後のご入場・途中退席はできません。
☆プラネタリウム一般向け番組「2018年宇宙の旅」
投影日時: 4月1日(日)までの土・日曜日、3月28日(水)・29日(木)の午前11時、午後2時(3月10日(土)・24日(土)の午前の回を除く)
☆プラネタリウム幼児向け番組「ぼくたち惑星8兄弟」
投影日時: 3月10日(土)・3月24日(土) 午前11時
☆東日本大震災祈念特別投影「星空とともに」3頁参照
☆星空と音楽のタベ「春はあけぼの」投影日時: 3月18日(日) 午後4時
☆雑貨団シアトリカル・プラネタリウム「火星へ応答せよ」3頁参照
☆館長の星空解説「春だ! 京都へ行こう・2018」3頁参照

あなたと博物館 45巻12号 通算495号 発行 平塚市博物館 2000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 ホームページ http://www.hirahaku.jp/